

【Emotional Strata—記憶の往来】

文化庁プロジェクト「往来と創発」のダンス部門イベント。
信州大学人文学部芸術ワークショップゼミの学生とアーティストが共同してパフォーマンスを行います。

12月25日(水) 午後7時~午後8時30分
(6時30分開場)

・会場: 茅野市民館コンサートホール
・料金: 無料
・問合せ: 0266-82-8222 (茅野市民館)

【長野県縦断〜栄村応援プロジェクト
イウト とびらをひらけ!!】

日本神話・天岩戸の話をもとにした、踊りあり、歌あり、楽器の演奏ありのお芝居。明るく楽しく、そして勇気が湧いてくる舞台です。

1月13日(祝) 午後3時30分(午後3時開場)

・会場: 茅野市民館マルチホール
・料金: 全席自由 おとな 2,000円(当日2,500円)
年少~高校生 1,000円(当日1,500円)
・問合せ: 0266-73-4115(茅野おやこ劇場・中島)
0266-23-0189(岡谷子ども劇場)

【びじゅカフェ〜美しく健康寿命をめざす〜】

30種類のハーブからあなたに合った自分茶づくり、ペット健康コーナー、健康食の試飲・試食などができるオープンカフェを開催。11時~簡単キムチ作り(要申込/材料費1,000円)もあります。

1月18日(土) 午前10時~午後4時

・会場: あいとびあ3F調理室(岡谷市)
・問合せ: 090-1862-6297 (かわかみはるえ)

【萌木の村のイルミネーション】

自然の素材を生かしたナチュラルクリスマス。トナカイのそり、サンタクロースが萌木の村に登場します。

11月23日(土・祝)~2月28日(金)
・会場: 萌木の村(北杜市高根町清里)
・問合せ: 0551-48-3522(萌木の村)

【光のファンタジア
“スイスと世界遺産への旅”】

ハイジの村が200万球のイルミネーションに包まれます。ハイジ号で園内の世界遺産をモチーフにしたイルミネーションをめぐるイルミネーションツアー、クリスマスディナーも楽しめます。

12月1日(日)~12月30日(日)

・会場: ハイジの村(北杜市明野町)
・問合せ: 0551-25-4700(ハイジの村)

【イルミネーションフェスティバル in 原村】

原村の冬を彩る風物詩『イルミネーションフェスティバル』が今年も開催されます。最も大きなイルミネーションは、高さ約22mのドイツツウヒ。原村の冬のシンボルとして、観る人の心を温め、明るい気持ちにしてくれます。

11月23日(土)~1月13日(月・祝)

・点灯時間: 午後5時~午後10時
・会場: 原村ペンションビレッジ周辺
・問合せ: 0266-79-7072(原村観光連盟)

次回のくるいくは2014年3月発刊予定です。

掲載イベント募集!!

大きなイベントから身近な小さなイベントまで。あなたが主催するイベント情報を「くるいく」の紙面とホームページに掲載しませんか?

イベントのタイトル・日時・会場・料金・問合せ先等の必要事項を記載し、インターネット・メール・Faxのいずれかの方法でお送りください。※内容等の都合で、掲載を見合わせる場合がありますので、ご了承ください。

広告掲載のご案内!!

「くるいく」に広告を掲載してみませんか?

「くるいく」の本誌、ホームページともに広告を掲載いただける企業・事業所・店舗・個人の方を募集中です!広告掲載・デザインについての悩み・疑問、広告料金についてなど、お気軽にお問い合わせください。

編集後記

おかげさまで Vol.4 を発刊することができました。くるいく創刊から早6ヶ月、その間色々なことがありましたが、たくさんのお出会いがあり、とても充実した時間を過ごせました。さて、2014年はどんな出会いがあるのか、今から楽しみにしております。

鬼の眼編集長・鬼束 耀光

ストーブリーグ真只中。とにかく気になるのはファイターズ。来年こそは頑張れ!!

奇跡を呼ぶ男・山田

STAFF

朝晩の空気もぐんと下がり、イルミネーションも綺麗な季節になってきました。くるいくvol.4で今年の締めにあつた素敵な情報を見つけてくださいね♪サンタさんはあなたのそばにいますよ☆

つっこみクイン・こはる

しんしんと日毎に寒さが増してきました。寒いのは苦手ですが、スキーにスノボ、温泉...このエリアならではのレジャーで冬を楽しみたいですね。(*・*・*)

微笑みデザイナー・yamasachi

ハッ岳高原エリアにワクワクをさがしにくる?いく!!

vol.4

2013.12

TAKE FREE
ご自由にお持ちください

くるいく
www.kuruiku.net

CONTENTS

個性という村加価値を付けると笑顔が返ってくる

ハッ岳人

大のオトナ達が本気になって遊んでいる風景

坂元 正一さん・安 英輔さん

ごっこやが自分がいるべき場所

小林 浩樹さん

花づくりからデザインまで

蓼科フランチ

クリスマス&年末

この冬のおすすめスポット

偶然に導かれたどり着いた大泉

細谷 隆さん

くるいく

ハッ岳高原エリアにワクワクをさがしにくる?いく!! www.kuruiku.net

2013.12
vol.4

〒391-0013 長野県茅野市宮川5844-2 全日本旅行ビル
発行:スタジオ・ハロー Tel.0266-82-0409 Fax.0266-82-0311 Email.contact@kuruiku.net

無料



CONTENTS

- vol. 4 作る 造る 創る
- 01 エリアマップ
- 03 個性という付加価値を付けると笑顔が返ってくる
八ヶ人(ヤツガット)
- 05 ここが自分の帰るべき場所
小林 浩樹さん
- 07 大のオトナ達が本気で遊んでいる風景
坂元 正一さん/安 英輔さん
- 09 「花作りからデザインまで」が私たちの誇り
蓼科プランツ
- 11 クリスマス&年末
この冬のおすすめスポット
- 13 偶然に導かれたどろり着いた大泉
細谷 隆さん
- 15 イベントガイド



Hearts Art Jewelry 0266-72-9846
茅野市宮川5754-1



どその時、あなただけにいますか？

1日の60%は家族が揃いません
「自力で乗り切る」最初の48時間を生き抜こう！

Life Save 48

1セットあたり¥5,250(税込)

(収納箱) 幅345mm×奥行140mm×高さ250mm (重量) 約3.5kg

専門販売

情報用紙/(PPCコピー用紙・FAX用紙・コンピューターストックフォーム用紙・ワープロ用紙、他)
OA機器/(複写機・複合機・FAX・ワープロ・コンピュータ)
オフィス家具・スチール事務機/(ナイキ・ITO・イトーキ)
物流機器(ダイフク)

諏訪市中洲福島 5679 E-mail: info@chuubuoa-suwa.co.jp

明日のOAを考えたOA時代のニーズに応えるゼロックス・パナソニック特約販売店 土・日・定休

株式会社 中部 OA サプライ

TEL: 0266-57-0400 FAX: 0266-53-8552

飲料水

ときわの命水

500ml×3本(ペットボトル1本入り)
保存期間: 製造日より2年
直射日光を避けて保存

携帯トイレ

プレジャーピッピー

(実用新案登録済) 日本製
大小兼用2個・小用1個
ポンチョ付き
(プライバシーも安心)

お電話でご注文頂ければお届けに伺います。

非常食

えいようかん

羊羹(煉)
300g×1箱(60g×5本入り)
保存期間: 製造日より5年
直射日光、高温多湿を避けて保存

非常用グッズ

防災簡易電灯1枚/ダイナモ3LED
ライト1個/車手1組/笛1個
3mロープ1本/13徳キャンピング
ナイフ1本/国産ウェットティッシュ
(10枚入)1包/国産救急絆創膏
2サイズ18枚入り/ライター1個

Healthy body and lymph

リンパの流れを良くする事が健康な体になる



リンパの流れが悪いと体の中に余分な水分や老廃物をためこみやすく、むくみや肩こり、肌荒れの原因となるだけでなく、だるさや頭痛などの体調不良、さらに免疫力の低下に繋がります。リンパはストレスや体温に左右されやすく、毎日ケアをする必要があります。当サロンでは皆様の日頃の疲れから解放し、より健康になれるようにサポートさせていただきます。

癒しのリンパセラピー
やち 八千ゆめの

くるいく見たで10%OFF

ご予約制
☎080-5140-5995

諏訪市中洲神宮寺259-4
12:00~22:00
水曜日のみ営業

【menu 内容】

- ・リンパレッスン ¥2,000/2時間
- ・健康セミナー、各種養成講座など不定期開催
- 【女性】
- ・リンパセラピー
全身 90分 5,000円
- ・フェイス 30分 2,000円
- 【男性】
- ・ヘッド&フェイスのみ 30分 3,000円

その他部位によるセラピーも承ります。
ご相談下さいませ。
※施術には全て温石ベッドを使用致します。





ハケ人（ヤツガット）

原村、富士見で活動する農業を楽しむ人達の集まり。

現在、メンバーは7、8人。

野菜農家、花農家などそれぞれ志すものは違うが、その中でも個性を出し刺激を与えあっている。

原山荘での集まりのお問い合わせ

sakadachi82@gmail.com

個性という付加価値を付けると笑顔が返ってくるのだ

ハケ人（ヤツガット）と原山荘

ハケ人は原村、富士見で農業を楽しむ個人農家の集まりである。ハケ人として農業法人を作ったり、イベントを開催している訳ではなく、それぞれが思い思いのやり方で農業を楽しんでいる。

そして、原村のペンションビレッジ内にある原山荘に月1回ほど集まり、近況報告や情報交換を行っている。この集いにも必ず参加しなければならないというルールはない。自分の状況に合わせて行ける時にだけ参加すれば良い。時にはハケ人以外の人達の方が多い時もある。真面目な話もあれば、2、3人ずつバラバラな話で盛り上がっている時もある。

今回の取材は、そんな原山荘での集まりの時に邪魔して、ハケ人メンバーである折井さん、町田さん、ノブさん、そして原山荘のオーナーであり映像制作の仕事に携わる高橋さんを中心にお話を伺った。

この場所だからこそできること、自分だからこそできること

～皆さんにとって農業の魅力って何ですか～

折井さん「農業と一言で言ってもみんなそれぞれ取り組み方は違うと思うんですよ。僕の場合は、野菜を作っているんですが、従来のやり方だと作って収穫して農協や市場に出荷するしか方法がなかったと思うんですね。この方法であれば収入は安定するかもしれないけれど消費者との距離が遠い。それでは面白みに欠けるかなと思っていて、直売に力を入れています。収入的に不安定な面もあるけれど、自分の作った野菜が、それを食べる消費者に喜んでもらえる場面に遭遇することが一番の面白さですね。」

ノブさん「僕は花の生産農家です。僕の奥さんが原村の農家の娘なので、婿養子としてこちらにきました。出身は横浜です。奥さんからは『農家は冬が休みだからいいよ～』って言われて

期待してたんですが、ハウスで花を作る農家に休みなんてないんです（笑）。義父の下で修行していた時はサラリーマンと同じで感覚だったとしても正直あまり楽しめなかったけど、独立してやれるようになってからは毎日、ハウスに行くことも苦ではなくなりました。やっぱり、自己責任で最後までやる仕事って充実感があるじゃないですか。でも、たまには息抜きも必要なので時間を作っては奥さんと旅行に行ったりもしています。自分の頑張り次第で時間を作れるというのも楽しみの一つですね。」

町田さん「僕はハウスで無農薬の花を作っています。元々サラリーマンをしていたんですが、ある時、農業をやりたいなって思ってたんです。最初は松本市の方で考えていたんだけど、エコーラインから眺める空の抜け方を見てとても感動したんです。一目でこの場所に魅了されました。今では、異業種の方々とコラボレーションしながら農業プラスアルファの生活を楽しんでいます。今年もいくつかハウスの中でのイベントをやったり、ハウスの周りでキャンプをしたりして盛り上がりましたよ。」

この3人は農家であるが、それぞれ作っているものも違えば売り方も違っている。しかし、共通点もある。それは、農業をやる前に会社勤めの経験があるということと、そして、何より大きな共通点は『人と人とのコミュニケーションを楽しんでいる』ということである。

選択肢の1つとしての農業

原山荘オーナーの高橋さんと折井さんは共に原村出身で歳も近い。学年で言うとな高橋さんが1年先輩になる。

折井さん「慶くん（高橋さん）のことは、小学生の頃、1つ上にしたなという記憶がありますが、大人になるに連れて職業も違うことがあって、接点がなくなっていました。それが、たまたま町田さんが主催するイベントで慶くんと再び出会って・・・。」

高橋さん「そうですね。幼馴染と1ターンでこちらにやって来た人の開催するイベントで再会するって、何か不思議な感じがしましたね。しかし、これも何かの縁ということなんだと思います。その時、ハケ人の事を聞き、異業種の僕にも何か手伝えることがないかなと考えたんです。それが、この原山荘という場所の提供でした。」

そんな出会いからしばらく経って、高橋さんが東京の友人のオフィスにいた時、たまたま東京の大学に通う学生と出会った。話をしてみると、その女の子は将来原村に住みたいと言う。

高橋さん「それから、東京の学生達との交流が始まったんです。去年の夏には10人くらいの学生が原村にやって来て収穫体験などをしました。この子達は都会生まれ都会育ちの子が多く、田舎と呼べる場所がないんですね。僕らが当たり前に感じている場所が新鮮に映ったらしくとても楽しんでいました。そして、その子達が『原村に恩返しをしたい』と言って、今年は東京の代官山で原村の花を直売してくれました。」

折井さん「今も就職氷河期と言われていますが、農業も就職の選択肢の一つとして考えてもらえるとう嬉しいですね。僕たちみたいに一旦、会社勤めをしてからでもいい。何かに行き詰った時、自分のやっていることに疑問を感じた時でもいいから、『あの時、原村で体験したことって何か楽しかったな』とフッと頭によぎってくればいいなと思います。」

学生達だけでなく、脱サラし農業を志す人もいますが、その人達がまず不安に思うことがある。それは、農地、収入、出荷先などである。

折井さん「ハケ人ではそういう人達のお手伝いもしています。収入に関しては、天候やその人の頑張りによって左右されたりしますが、農地の紹介はできますし、農機具を貸すこともできます。出荷先も紹介できるのでそこから自分でどんどん広げて行って貰えば収入も安定して行くんじゃないかな。農業ってそんなに甘いものじゃないって言われるかもしれないけど、何もかも一人で抱えて悩む必要はないと思うので、僕たちに限らず周りの人と積極的にコミュニケーションを取って友達の輪を広げていけば道は開けると思いますよ。」

ハケ人の進む道

折井さん「ハケ人は農業を営む個性の集まりなので、みんなが何かをしようと、ルールを作って組織をしっかりしようなどといった思いはありません。時には協力して何かイベントをやったりもしますが、あくまでも自由参加だし、それぞれ思う方向で進んでそれぞれがお互いの刺激になればいいと思います。『あいつがあれをやったなら、俺はこれをやろう』的な、良い意味でライバルでもあるかもしれませんね。」

高橋さん「原山荘としては都会と田舎を繋ぐハブ的な場所でありたいですね。単なる人が集まる場所でもいい。いろんな個性を持った人が集まって、情報交換があったり、学ぶことがあったり、刺激があったりすればそれだけでこの場所を開放している意味があると思っています。」



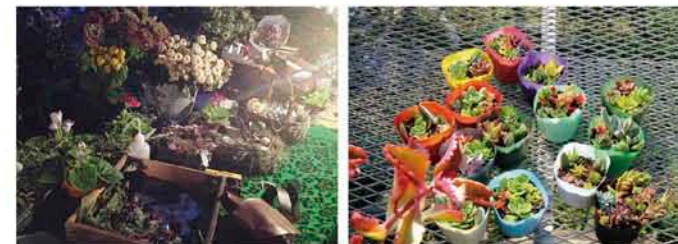
ハケ中央農業実習大学校にて



手作りのビザ全完成！



HAMARA FARMで収穫体験





雪山とカービングを愛する スノーボーダー

こばやし ひろき

小林 浩樹さん

富士見町出身。2000年から10年間、トップスノーボードライダーとしてテクニカル界で活躍。第12回全日本技術選手権大会5位。

初代カーブマン代表として、キャンプやイベント・大会などの企画&運営を行う他、スノーボードのテクニカルビデオの制作など幅広く活動する。

カーブマン HP <http://www.carveman.com/>



第17回全日本
スノーボードテクニカル選手権大会にて



今回の取材場所を提供していただいたチューンナップ工房【スノーラ
グハウス】。ボードの事になると小林さんとオーナーの白井さんの話
はつきません・・・。

朝イチで山頂に上ったときの雪山の匂い。 その時に私ははつきりと確信します。 「こここそが自分の帰るべき場所なのだ」と。

スノーボードとの出会い

「小学生の頃、自宅から車で2、3分の所に富士見パノラマが出来て。当時は毎晩、学校が終わったらナイターに出掛けていました。中学生で本格的にスキーを初め、高校生の頃は高体連でスキー競技をやっていました。

高校卒業後、2年くらい東京にいたんですが、地元へ帰って来た際、久しぶりにスキー場に行ったんです。その頃はちょうど第一次スノーボードブームの時に、『スキーヤーはどこにいったの?』というくらい、みんなスノーボードばかりやっていました。

自分はスキーヤーだったので、最初は抵抗がありましたね。『あんな、チャラチャラしたスポーツはやりたくない』って。でも、周りから『一度はやってみなよ。』と誘われ、『じゃ、ちょっとやってみようか』と始めたのですが、あまりに滑れなかったのが悔しくて。それから、どんどんはまっていったのが始まりです。

目と鼻の先にスキー場があるので、自営業の仕事を手伝いながら仕事が終わったら毎晩ナイターに通って、週末は白馬に行ったりして滑っていましたね。」

日本一を目指す!

「24歳の時、結婚して子供が生まれたこともあって、区切りをつける意味で翌年、最後に一度くらい大会というものに出てみたいと思い、全日本技術選手権の中部地区大会に出たんです。そうしたら、初出場で130名位出場した中でいきなり優勝してしまいました。トップ通過だったので、ボードメーカーさんが応援しますよということまでスポンサーになってくれて・・・。

それから、やめるにやめられなくなってしまった感じですね(笑)。嫁さんも『もうちょっとやってみたら』と後押しして

くれて。その後、中部大会で3連覇して全日本でもシード10に入る事ができて。サラリーマンを続けながら全日本を代表するトップクラスの選手として活躍。2005年からはグレイスノーボードに移籍して、自分のモデルのボード開発やプロモーション活動などもしました。

10年たって日本一になれなかったらやめようというのは、選手になって7、8年目位から決めていたんです。『どうしても1番になりたい』という思いにこだわってずっとやっていたんですが、どうしても1番になれなくて。それで10年目にスバッと気持ち切り替えて引退を決意したんです。

今は、OBとしてメーカーと関わっていて、今年3月に行われたジュニアワールドカップに日本代表として出場した選手の育成など、若い中高生の選手の指導、コーチをしています。」

自分の子供たちのこと

「現役の時、シーズン中は忙しくて、子供が自分の知らないうちに大きくなっていったという瞬間もありました。今でこそ小学生と中学生になった子供を連れてスキー場に行く事もありますけど、小さい頃はお父さんが家にいない、という寂しい思いをさせていたこともあったんですよね。

子供ができたボードを教えて10代になったらプロにさせて・・・などという勝手なイメージがあったんですが、実際は子供たちは、どっぷり野球にはまっていますね。

僕がスノーボードが好きで今までやり続けているので、子供は子供で好きなことをやらせてあげたいし、自分でやりたいものを見つけて、必死になってやってもらいたいと思いますね。」

フリーライディングを愛する集団。カーブマン

「選手を始めた2001年、富士見パノラマで滑っている仲間

達とカーブマンというチームを発足しました。最初は小さなステッカーを作ってボードに貼って。そのうち、『俺も一緒にやりたい』っていう仲間がどんどん増え、アマチュアでやっていた選手がプロの選手権で表彰台に立ち、技術戦などでは九州から北海道まで、またメーカーさんの間でもカーブマンという名前が通るようになりました。

仲間のライダーは30名以上。現役のプロ、デモンストレーター、トップアマによる、カービングを愛するスノーボードユニットです。

“フラットなスキー場を曲がって滑っていく”、そこにずっとこだわって滑りを追求していくという。

カーブマンではDVDをリリースしたり、『1 DAY』という一般のお客さんと一緒にレッスンや食事を共にするキャンプを行ったり、一般の人たちも参加できるカーブマン決定戦という技術戦の大会を開催したりしています。」

これからの事——スノーボードの魅力

「今指導している子供たちが、今後選手として活躍していくように成長を支えていきたいですね。あと、富士見町商工会青年部さんと組んで富士見町の小中学生を対象にしたスノーボード教室をやらせてもらっています。

今までは自分のためにスノーボードをやってきたのですが、これからはボードを通して知り合った素敵な仲間とこの出会いに感謝しながら、一緒にボードの楽しさを広げていきたいですね。

今日の取材場所を提供して下さったチューンナップ工房・スノーラッグハウスの白井さんもその一人です。先程お話ししたカーブマンの活動の中でも、ネットTVでシーズン中のスノーボードに関する映像や白井さんのチューンナップ講座の映像を発信しています。

『スノーボードってカッコイイな、やってみたい』と少しでも思ってもらえると嬉しいですね。自分自身は、おじいちゃんになってもピンクのウェアを着て滑っていたいんです(笑)。

スノーボードを初めて18年、人生のほぼ半分以上を雪山で滑ってきました。ボードを通じて大勢の素敵な人と知り合えることもできました。喜び、苦しみ、挫折、希望・・・様々なものを自分に与えてくれました。だからこそ、朝イチで山頂に

リフトで上っていったときの雪山の匂いには心から癒されます。そしてその時にはっきりと確信します。『ああ、ここが自分の帰るべき場所なんだ』と。『こここそが自分の居るべき場所なんだ』と。今でも滑る前には、雪山に必ず一礼してから滑ります。大いなる自然への憧れと、自分に純粋に喜びを与えてくれる雪山に対して。それは自らの身体にしみついていっているのじゃないかな。」



2014年、カーブマンよりスタートするDVD
【WILDCARD】に先駆け、
今年10月にリリースされたDVD【WILDCARD
ZERO】

**スキーはもっと上手くなる
速くなる。
そして楽しくなる。**

0266-58-7408 長野県諏訪市沖田町 1-115-4
090-1459-6149

スキー、ボード、ブーツそれぞれチューンナップ受付けております。

スキーレッスン
白井塾

チューンナップ工房
Snow Lag House



大のオトナ達が本気になって 遊んでいる風景がそこにある。

さかもと しょういち / やす ひですけ
坂元 正一さん / 安 英輔さん

直径が一円玉より小さいコマを直径 250mm の土俵の上でぶつけ合う。
全霊を打ち込み作り上げた自らのコマの戦いの場だ。
相手との勝負で二回先に勝つと勝者になる。
勝者は敗者のコマをもらえる。(それまでの戦利品を含み総取り)
勝者と敗者の差はあまりにも大きい。
その厳しさ、それもまた人生なのだとはいえる。



今回そんなコマ大戦の 10 月 26 日信州上田場所、11 月 3 日
北名古屋場所二連覇を果たした茅野市の日成機工さんにあ
じやしました。

お話を伺ったのは旋盤の仕事一筋 55 年の安英輔さんと、た
だただ自分の目指す ZERO のために五感を研ぎ澄ませている
坂元正一さんです。

コマ大戦の初参戦

コマ大戦との出会いを教えてください。

安さん「以前、職業訓練校で教えていた時に『ものづくりの楽
しさ』を感じてもらおうとコマを作ったりしていたんだけれ
ど。コマ大戦のコマ作りは難しかったねえ。

コマ大戦への参加は一年程前から。最初は北陸ブロックの
新潟場所に参戦したけれど一回戦で負けてしまった。あの時
は悔しくて悔しくて。それ以来、『勝つためにはどうしたら
いいか』そればかりを考えていました。

材質はどうなのかとか、土俵で廻したときどうなのかとか、

試行錯誤しながら試作づくりを繰り返した。その後、大田区場
所に参戦してようやく 3 位になった。」

コマ大戦の意義

コマ大戦に参戦している理由を教えてください。

坂元さん「自分がやってきたものづくりをコマの中に全て盛
り込んでいく、そこに自分のやって来た成果が表れる。

中小企業は一般的に大手メーカーの下請けとなるわけですが、
自社製品を持って直接お客様に販売していく、スモール
メーカーとして製品を育てていこう。そのひとつがコマな
わけです。また、『コマ大戦に関わった人たちが共に何か作っ
ていこうよ』という思いもあります。

みなさん後継者不足な訳ですが、オトナ達が本気になって
遊んでいる姿を見て、『何なのだろう？』と若い人たちが少し
でも、もの作りに興味を持ってくれればいいね。強いコマが
どうしたら作れるのだろうか、自分たちのアイデアや創意工
夫がきっと社内の活性化に繋がっていくと思います。」



長年培って来た技術を、魂を、小さなコマ に込める。

コマ大戦に参加することは、勝ち負けにはこだわものなの
ですか？

坂元さん「私が製造業に携わって 30 年以上になります。あの日
お客様に感謝していただいた喜び、あの日得意様に理不尽
な事を言われた悔しさ、それら全てを糧にして自分が長年培っ
て来た技術を、魂を、小さなコマに込めるわけなんです。だからこそ勝ちたいのです。

参加することに意義があるなどというきれいごとでは無く、
勝ちたいのです。負ければなんだか自分の今までの人生を
全て否定されたような気持ちになります。」

負けの三法則

それでは勝つための準備として考えることはなんでしょう
か？

坂元さん「負けの三法則が存在するのです。それは①情報不
足②思い込み③慢心です。ですから、各場所ごとに必ず新しく
作ったコマで参戦します。前の場所で勝ったからといって、そ
のまま次の場所でも勝てる程あまい世界では無いのです。みな
さん勝ったコマを研究し、さらにそれを上回るコマを作っ
て来ます。だから、さらにその上を行かなければ連覇などできる
ものではないのです。」

私はその言葉を聞いて、コマの世界だけでは無くますます
人生に通じるものと思った。この取材後、11 月 10 日エキシ
ビジョンマッチ G3 (埼玉場所)、11 月 16 日フレ世界大会 in
八王子 G3 とスケジュールが組まれている。どんな結果になる
だろうか。楽しみどころだ。

直径 250mm の土俵の上で繰り広げられる戦い。それがどれ
ほどの意味を持つのかはまだ誰も知らない。ただひとつい
えることは、巨大なタンカーよりも、小さなコマがこの世
界を変えることもあるかもしれないということだ。

※11 月 10 日に行われた「全日本製造業コマ大戦 G3 コラボさ
いたまステージ」でも優勝し、見事三連覇を果たしました。

コマ大戦 HP <http://www.komataisen.com>
日成機工 HP <http://www.nissei-p.jp>



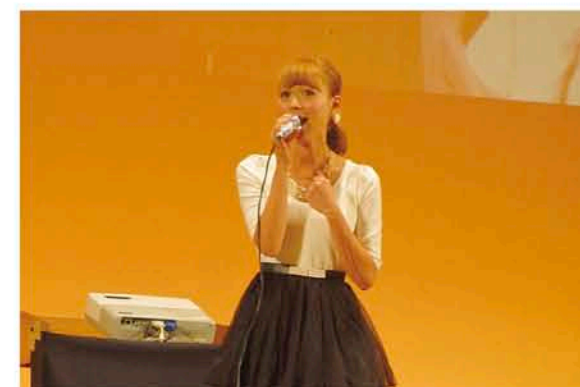
坂元正一さん



安英輔さん



10 月 19 日に行われた全日本製造業コマ大戦「諏訪園工業メッセ特
別場所」の様子。長野県内を中心に 36 の企業や大学が出場した。



全日本製造業コマ大戦公式テーマソングを歌っている A01 さん。

蓼科プランツ

平成8年創業、自社農園で栽培した花々をドライフラワーにし、さらにそれをアレンジメントにして全国有名百貨店、生花店などに販売しています。生産部門の塩沢ファームでは、夏秋いちごとフルーツトマトの栽培出荷も手がけています。
HP <http://www.tateshina-plants.com/>

蓼科プランツスタッフの皆さん

10月某日、茅野市にある蓼科プランツアレンジ製作工房にてデザイナーの生原（はいばら）加代子さん、浜あさ美さんにお話を伺いました。

「蓼科プランツでは『花作りからデザインまで』をコンセプトにしています。茅野市塩沢ある自社農園は約100アール（野球場1つ分）あり、その中でも高低差を利用して5箇所に分けて約40種類の草花を栽培しているんです。蓼科高原という場所は朝夕の寒暖差があり、晴天率も高く、日射量も多いので花の発色がとても色鮮やかなんです。収穫の時はスタッフ総出で手伝います。

そして、その草花をさわやかに乾燥した空気の中でドライフラワーにしています。愛情を込めて作ったドライフラワーを使い、母の日やクリスマスなどのイベントに合わせリースやアレンジメントにして全国の有名百貨店や生花店な

どに送っているのがこの場所なんです。1つ1つが手作りので手間暇がかかりますが、『花作りからデザインまで』に誇りを持ってやっているのでもとても充実感がありますよ。」



標高1,000mにある塩沢ファームで種を蒔くところから、丁寧に育てています。

『花作りからデザインまで』が私たちの誇りです。

手作りリースの作り方

ドライフラワーや木の実を使ってクリスマスのリースを作りましょう！ヒムロスギはヒバなどで代用してもOKです。

デザイン製作のポイント

中央の3つのヘリクリサムがポイントで、そこから両横に花を上に向けるようにすると綺麗に仕上がります。



ステップ1



- リースを下げる場所にワイヤーを付ける。
- リース下のところにヘリクリサムを3連と両横に1輪ずつ挿す。
- リングを3箇所に付ける。

ステップ2



- カラマツの後ろにワイヤーをつけてリースに付ける（左に小さめを2個、右に大きめを1個）。
- デュモサを中央から上に向かって5センチくらいに切ったものを挿す。デュモサを長くならないように挿すのがポイントです！！

【使用花材、資材】

花材：ヘリクリサム、デュモサ、カラマツ、ヒムロスギ、センニチコウ、ヒイラギ
資材：リース、ワイヤー、リボン、リング（造花）、ゴールドボールピック、水引木工用ボンドで製作します。

完成です！



- ヒムロスギをデュモサより長くならないようにボンドを多めにつけて間に入れ、センニチコウを所々に入れる。
- ヒイラギを4枚、ヘリクリサムを囲むように挿す。
- ゴールドボールピックを所々に挿す。
- リボンをちょうちょ結びにして後ろにワイヤーを入れ、リースベースに挿して出来上がり！

アレンジ！



クリスマスが終わったあとは、リボンとヒイラギをとって水引を付ければ迎春飾りになります！

2014 Winter item

蓼科プランツさん最新デザインのリースです。



アチローズレッド



スノードロップ



エレガントツリー



チェリーベリーレッド



ハーティークリスマス



パイオレットローズ



ハッピークリスマス



サイレントクリスマス



アブリアントローズ

生花のアレンジメント



お盆のお花



母の日バラ生花

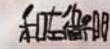


アニバーサリーチロル

TIROL Since 1952 JR茅野駅から南へ徒歩1分。弥生通り商店街右側

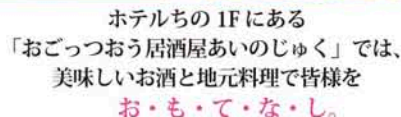


メリークリスマスなのひと言が
こんなに嬉しいものだったなんて



ハーツアートジュエリー  0120-822964

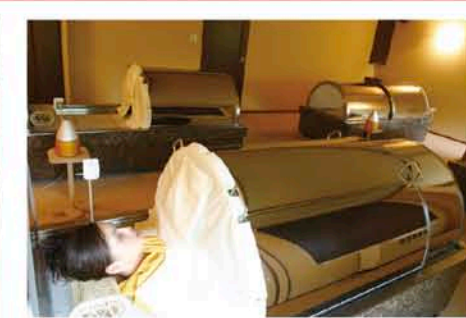

OPEN ■10:00~19:00 金曜日定休
ADDRESS ■茅野市宮川 5754-1
PHONE ■0266-72-9846 FAX 0266-72-9866
URL ■<http://www.wazaemon.com>



今年の年末は、美味しい料理とお酒とともに
皆でわいわい楽しく過ごしましょう！

ADDRESS ●長野県茅野市宮川 4395-1
PHONE ●0266-72-8100 FAX ●0266-73-0358
URL ●<http://www.hotel-chino.com>

御料理 お一人様 2,625 円～(各種)
飲み放題 お一人様 2 時間 2,100 円
(全て要予約)



ドーム型岩盤浴「ぬく磊の癒」で
身体の内面から
自分をリセットできます。

湯元 音無の湯

音無の湯のドーム型岩盤浴「ぬく磊の癒」では身体の内面から自分をリセットすることができます。身体の芯まで届く熱エネルギー「遠赤外線」と霧ヶ峰伏流水を使った「温水」で体内の老廃物などを排出するエネルギーを放射する石（岩盤）を温め、温めた石の上に横になります。更にドーム型のカバーをすることにより蒸気浴も同時に行えます。蒸気浴＋岩盤浴の二つの作用を同時に行えるのはドーム型岩盤浴の最大の特徴です。○免疫力を高める○老廃物を汗とともに体外に出す○遠赤外線・マイナスイオンによる代謝機能の向上○美肌効果（アンチエイジング）○血流量を良くするなどの効果があります。

■料金：一般 /1,800 円→1,500 円（お一人様）
 ※この雑誌くるいくをご持参下さい。（1 冊で、2 名様まで 1 回限り）
 ■営業時間：午前 11：00 ～午後 9：00（最終受付 / 午後 7：00）
 ※平日は～午後 8：00（最終受付 / 午後 6：00）
 ■天然温泉入浴→ドーム型岩盤浴入浴（30 分）→体成分測定（専用着衣
 バスタオル・フェイスタオル貸与付）
 ■ご予約：予約は不要です。（先着順）

ADDRESS ●茅野市北山2977-1(R152大門街道沿い)
PHONE ●0266-77-3939 (代)
最新情報をCHECK!!





ほそや たかし 細谷 隆さん

銀のスプーン工房ほそや
山梨県北杜市大泉町西井出8240-1576
TEL/FAX 0551-38-2906
Mail chan4wr@mac.com
facebook.com/hosoyatakashi
1962年東京都荒川区生まれ
1987年銀製洋食器の製作へ
2009年 山梨県北杜市大泉町へ工房を移す
ハケ岳アート&クラフトネットワークおらんうーたん会員

アメリカンフットボールを通じて広がった 世界と父の交通事故 ～1つ目の偶然～

東京都荒川区の東京銀器職人の家に生まれた細谷さんは、中学、高校、大学とアメリカンフットボールに夢中になりながらも、将来は何か物を作る仕事をやろうと考えていた。

「就職を考えた時期に、親に後を継ぐことを伝えたくて。そうしたら、父親が『その前に少し、他の世界も見ておいで』と言われて…。それで、アメフト部のあるアパレルメーカーに就職したんです。当時はパル間近の時代。私の部署はとてめ厳しく毎日夜遅くまで大変でした。でも、帰宅後のトレーニングは欠かすやうにやっていた。苦しくもあったけどとても充実した時間を過ごしていましたね…。」

そうやって、2.3年経った頃、父親が自ら運転するオートバイで転倒し、利き腕を怪我してしまう。

「医者からは、最悪利き腕が動かなくなるって言われて…。丁度、仕事が面白くなって来た時期だったので、色々葛藤がありましたが、思い切って銀器職人の世界に飛び込みました。」

すべての工程を自分でやらなければ東京からは出られない ～2つ目の偶然～

東京銀器は東京都伝統工業41品目の1つに指定されている。細谷さんが作っている銀食器（スプーン・ナイフ・フォークなど）は戦後日本にきた外国人から修理の依頼などがあり発展していったという。

細谷さんの工房を訪れて、まず最初に驚くのが機械の大きさだ。作業工程によって機械が分かれているのだが、中くらいの大きさの機械でも30トンものパワーがある。どんなに小さなスプーンでもこの大きな機械がないと銀器は作れない。

作業工程はいくつも分かれているが、機械で全てできる訳ではなく手作業も多い。その中でも最終工程の『磨き』は専門の職人さんに依頼するのが通常である。つまり、磨きの職人さんが近くにいないとできないと銀器をつくることができないのである。

「いつかは東京から出たいと考えていました。そんな時、いつも磨きを依頼していた職人さんが体調を崩し、あまり仕事ができなくなってしまったんです。他の職人さんに頼むこともあったんですが仕上がりに不満が残りました。じゃあ、これを機会に自分で満足ができる磨きをやろうと思ったんです。必要に迫られてという事でもあったんですが、結果的に、磨きの

技術を身につけたことで東京から出られる可能性が現実化していったんですね。」

1本の間違い電話 大泉への移住 ～3つ目の偶然～

「親の後を継いで15.6年経ち、磨きの技術が身についたころ、移住のチャンスが巡って来ました。そう言えば、知り合いに定年退職してどこか田舎へ移住した人がいたなあ。今度、電話して詳しく話を聞いてみたいなって考えていたんです。そうしたら、その人から電話が来たのでびっくりしました。」

友人「細谷さんは、今日、上に行きますか？」

細谷さん「…？（『上』って何処？）」

友人「あっ、間違えちゃった（くく）」

その人の移住した先の知り合いにも細谷さんという名前の人が出て、単純に間違えたようであった。

間違い電話も何かの縁と思い、移住のことに関してその知り合いにいろいろ聞いてみた。

友人「私の移住した山梨県の大泉というところは物作りをやっている人がたくさんいるから一度見においでよ。」

「それがきっかけで、家族4人で大泉という場所を初めて訪れました。自然に囲まれた大泉に銀細工の工房をつくるというところに私自身は心ざときめいたんですが、家族の意見もあり、結局移住計画は一旦白紙に戻りました。

その年の年末年始、妻が息子たちを連れて実家のある和歌山に帰省したんですが、小さい頃からアトピー性皮膚炎に悩まされていた息子たちは、どうも田舎にいくとアトピーが治まるんですよ。でも、1週間して東京に戻ってくるとまたアトピーが発症するんです。

それで、家族でもう一度移住についてもう一度話しました。結果として、息子たちのことを考えると田舎への移住もいいのかも…ということになり、再び、移住先を探しに山梨のいろんな場所を検討しました。大泉以外にも白州や武川などいろいろと見て回ったんですが、暑さが苦手なことから標高1,000m以上の場所が良い、いつでも車に乗れるとは思わないので駅やバス停が近くにある場所が良い、銀細工を作るための機械は大きな振動を発生するので近くに家がない場所が良いなどの条件に合った場所として大泉に移住先を決めました。上の息子が高校入学、下の息子が中学入学の時であったことも丁度良かったかもしれませんね。」

もらい事故から生まれたつながり ～4つ目の偶然～

大泉に移住してもしばらくの間は、専門の銀食器だけを作っていた。東京にいた時と変わらず、取引先の間屋やテーブルウェアショップから依頼があり、それを納める日が続いた。レストランやホテルなどではなくほとんど個人で使うことが多い銀食器であるが、職人とエンドユーザーとの距離が遠いと感じることもあった。

そんなある日、車を走らせていると前を走っている車が停まり、急にバックしてきた。そして、衝突。幸い双方怪我もなく、車の破損も大きくはなかった。相手方と事故処理のことを話しているうちになぜか意気投合し、とあるカフェへ食事に行くことになった。そこでジャンベ（アフリカの打楽器）と出会った。

「ジャンベサークルに入り、とあるチャリティーイベントに参加した時に、せっかくなのでイベントに来た人に何か手作り体験をしてもらってその収益を寄付しようと考えたんです。ただ、銀ではあまりに材料費がかかるので非現実的なんです。でも真鍮なら銀の20分の1の材料費でできるということに気がきました。そうして、真鍮でスプーンという手作り体験が始まりました。今ではハケ岳マルシェやおらんうーたん主催のクラフトフェア、オープンアトリエなどに参加して、来てくださった方々に手作り体験をしてもらっています。この手作り体験を通してお客さんとの距離がすごく縮まったので、真鍮を取り入れたことはとても良かったことの1つだと思っています。

それから、大泉にはたくさんクラフト作家が住んでいます。陶器や木工、ガラスなどといった他の素材と銀器のコラボレーションもやっているんですが、それが自分自身の創作活動においてとても刺激になっていますね。」

偶然が重なって今がある。今から思えば全て必然のことだったのかもしれない。これからも、自然に囲まれた最高の環境の中でたくさんの人達と交流を続けて行けたらこんなに幸せなことはないだろう。



銀器の金型



他の素材とのコラボレーション



小さな銀器を作る為にも、こんなに大きな機械が必要となる

くるいくの 主な設置場所

※設置店を募集しております。お気軽にお電話下さい。（順不同・敬称略）

【茅野市】

- 茅野市民館
- 茅野市図書館
- 茅野市役所
- 茅野市観光案内所
- メリーパーク
- ビッグ茅野店
- ドッグサロンジュエル
- 平安堂茅野店
- 米膳かきい
- 丸井伊藤商店
- 米屋金物店
- 梅月
- マルボク
- カメラのフジモリ茅野店
- マルモベルビア店
- たんぼ歯科クリニック
- 音無の湯
- 茅野商工会議所
- アルパカハウス
- 笠原薬局（西友横内店内）
- マザーツリー
- ベルビア3Fこども館前
- ショッピングセンターio
- そば蔵諏訪インター店
- 珈琲店OB（ステーションパーク内）
- 信州大黒屋
- 天香館
- ハーツアートジュエリー
- アニバーサリーチロル
- ホテルちの
- 甘味カフェタ香亭 夢科店
- ロージードロップスクーラ
- ジェラテリアPICCO夢科本店
- パンデチーノ
- ミスタードーナツ茅野ショップ

【原村】

- パンさんのお茶
- Aコープ原村店
- 輪の舎リングリンクホール
- 桜の木荘
- Robin（ジェラード）
- たてしな自由農園原村店内・原村観光案内所
- ハケ岳自然文化園
- ベチカ
- カナディアンファーム
- ハケ岳中央農業実践大学校直売所

【富士見町】

- 石の花
- あぐりモール内 Aコープ富士見店
- 富士見高原リゾート鹿の湯
- 富士見町コミュニティプラザ（図書館）

【Café小舟】

- テーブルランド
- 夢屋

【北杜市】

- 名水公園べるが（白州町）
- 森のレストラン灯鳥（白州町）
- 久保酒店（小淵沢町）
- 和蔵珈琲店（長坂町）
- おいしい学校そば（須玉町）
- 油屋 ハケ岳（須玉町）

【諏訪市】

- アストのほけん
- アベニュー諏訪ふれあい広場店
- くらすわ
- まんま家

- コクビット岡谷（岡谷市）